

株式会社 テー・オー・ダブリュー

平成28年6月期
第2四半期 決算説明会

代表取締役社長兼CEO

江草 康二

本プレゼンテーションには

**平成28年2月8日現在の経営陣の将来に関する
前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。**

社会・経済・競合状況の変動等に関わる

リスクや不確定要因により、実際の業績が

記載の予測と異なる可能性があります。

経営理念

世界一の

“感動体験”をクリエイトし、
笑顔を増やす。

TOP OF THE WORLD
TOWCO.,LTD

平成28年6月期 上期決算の総括

平成28年6月期 上期決算の総括

- **2Q過去最高の売上、利益**

売上83億、営業利益10億(営利率12.7%)、純利益6億

- **インタラクティブプロモーション(IP)
推進による更なる受注拡大**

IP案件 16.5億→21.0億(前期比127%)

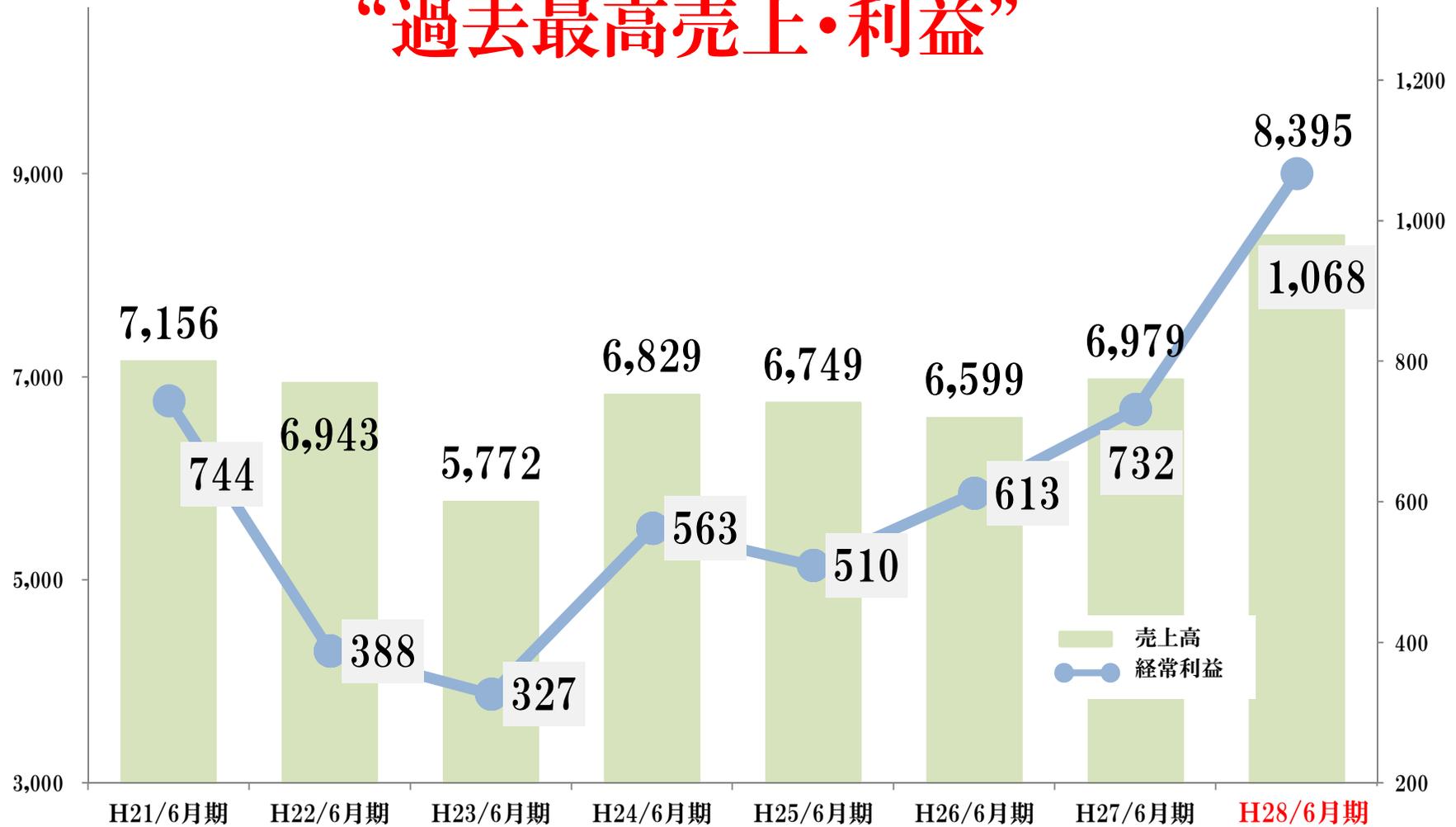
- **子会社T2Cの外部売上げ拡大**

(前期比 約150%)

平成28年6月期 上期決算の概要

連結決算の概要 (第2四半期)

“過去最高売上・利益”



(単位:百万円)

平成28年6月期 上期決算の概要(連結)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間							
	(26年12月)	構成比	(8月7日発表)	構成比	(12月9日発表)	構成比	(27年12月)	構成比	計画比	前期比
売上高	6,979	100.0%	7,565	100.0%	8,167	100.0%	8,395	100.0%	111.0%	120.3%
売上原価	5,896	84.5%	6,345	83.9%	6,800	83.3%	6,933	82.6%	109.3%	117.6%
売上総利益	1,082	15.5%	1,218	16.1%	1,367	16.7%	1,460	17.4%	119.9%	135.0%
営業利益	722	10.4%	833	11.0%	980	12.0%	1,066	12.7%	127.9%	147.6%
経常利益	732	10.5%	836	11.1%	981	12.0%	1,068	12.7%	127.6%	145.8%
特別損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期(当期)純利益	456	6.5%	549	7.3%	631	7.7%	693	8.3%	126.3%	152.0%

※平成27年12月9日に業績予想の上方修正を発表しております。

(単位:百万円)

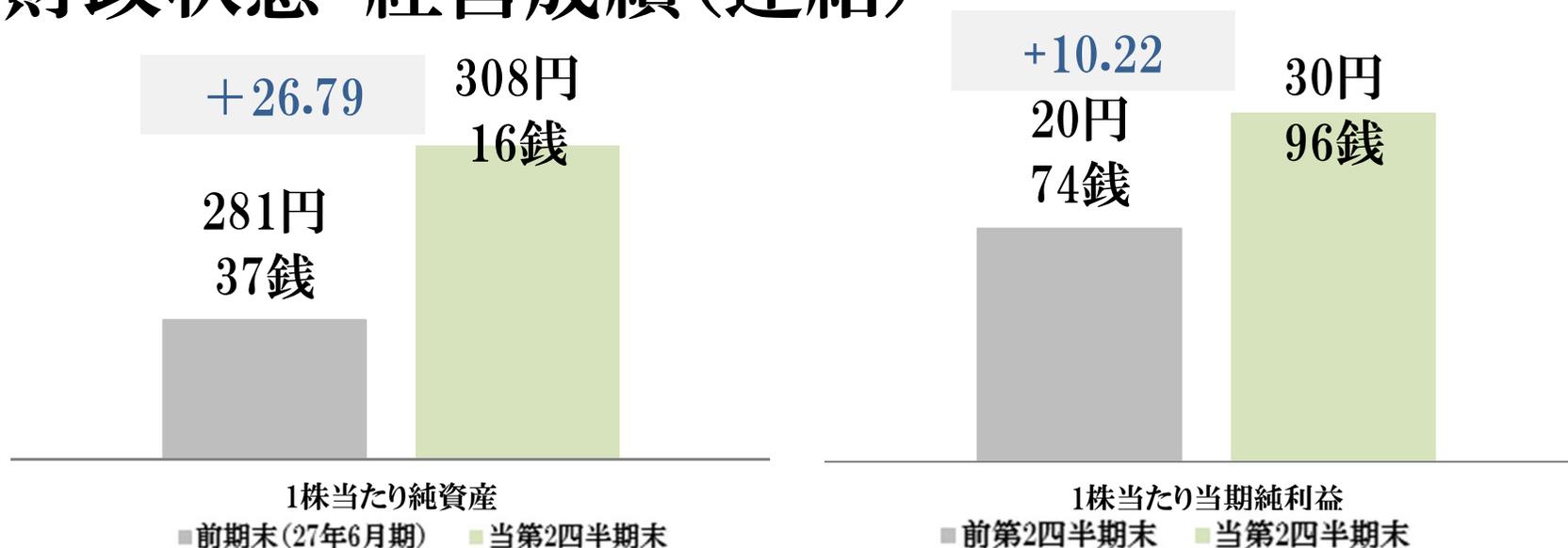
平成28年6月期 上期決算の概要(個別)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間							
	(26年12月)	構成比	(8月7日発表)	構成比	(12月9日発表)	構成比	(27年12月)	構成比	計画比	前期比
売上高	6,304	100.0%	6,830	100.0%	7,355	100.0%	7,539	100.0%	110.4%	119.6%
売上原価	5,436	86.2%	5,833	85.4%	6,259	85.1%	6,398	84.9%	109.7%	117.7%
売上総利益	867	13.8%	997	14.6%	1,095	14.9%	1,140	15.1%	114.4%	131.4%
営業利益	517	8.2%	624	9.1%	717	9.8%	755	10.0%	120.9%	145.9%
経常利益	668	10.6%	860	12.6%	952	13.0%	990	13.1%	115.1%	148.0%
特別損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期(当期)純利益	469	7.4%	646	9.5%	701	9.5%	726	9.6%	112.4%	154.8%

(単位:百万円)

※平成27年12月9日に業績予想の上方修正を発表しております。

財政状態・経営成績(連結)



※ 1株当たり純資産については期末発行済株式数（平成27年6月期：22,408,540株、当第2四半期：22,408,452株）を、1株当たり当期純利益については、期中平均株式数（前第2四半期：22,005,756株、当第2四半期：22,408,478株）を用いております。

※ 1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益については、株式分割平成27年6月期の期初に行われたと仮定して算定しております。

(単位：百万円)

	平成27年6月期	当第2四半期末	前期比	
総資産	10,143	11,648	1,505	※1
純資産	6,335	6,946	611	※2
自己資本比率	62.2%	59.3%	▲2.9P	

※1 現金及び預金が1,490百万円減少しましたが、有価証券が1,000百万円、受取手形及び売掛金が880百万円、未収入金が1,075百万円増加したこと等により、1,505百万円の増加となっております。

※2 配当金の支払が332百万円ありましたが、四半期純利益が693百万円、その他有価証券評価差額金が102百万円あったこと等により、611百万円の増加となっております。

キャッシュ・フロー計算書(連結)

	前第2四半期累計期間 (26年12月)	当第2四半期累計期間 (27年12月)	前期 (27年6月末)
I.営業活動によるキャッシュ・フロー	※1 586	※2 ▲268	1,287
II.投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 14	※3 ▲1,025	▲ 67
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	※4 ▲131	※4 ▲196	▲ 189
IV.現金及び現金同等物の増加額	440	▲ 1,490	1,031
V.現金及び現金同等物期首残高	2,196	3,227	2,196
VI.現金及び現金同等物の期末残高	2,637	1,736	3,227

(単位:百万円)

- ※1 税金等調整前四半期純利益が732百万円、仕入債務の増加額が417百万円、売上債権の増加額(▲)が297百万円が含まれております。
- ※2 税金等調整前四半期純利益が1,068百万円、仕入債務の増加額が875百万円、売上債権の増加額(▲)が880百万円、未収入金の増加額(▲)が1,075百万円、法人税等の支払額(▲)が352百万円含まれております。
- ※3 有価証券の取得による支出が1,000百万円含まれております。
- ※4 配当金の支払額が当第2四半期196百万円、前第2四半期153百万円が含まれております。

カテゴリー別売上高

「広報」、「販促」が伸長。

	前第2四半期累計期間 (26年12月)	構成比	当第2四半期累計期間 (27年12月)	構成比	前期 (27年6月)	構成比	
イベント SP	博展	108	1.7%	63	0.8%	120	1.0%
	文化・スポーツ	146	2.3%	43	0.6%	172	1.4%
	広報	1,952	31.2%	2,413	32.2%	3,859	31.9%
	販促	3,549	56.8%	4,285	57.2%	6,850	56.6%
	制作物	496	8.0%	691	9.2%	1,104	9.1%
	合計	6,253		7,496		12,108	

※ 企画売上高は除きます。

(単位:百万円)

業種別売上高

「情報・通信」が減少、
「自動車」、「流通・小売」が伸長。

	前第2四半期累計期間 (26年12月)	構成比	当第2四半期累計期間 (27年12月)	構成比	前期 (27年6月)	構成比
情報・通信	1,792	28.7%	1,398	18.7%	2,931	24.2%
食品・飲料・嗜好品	1,030	16.5%	1,198	16.0%	2,081	17.2%
化粧品・トイレタリー・日用品	583	9.3%	794	10.6%	1,210	10.0%
自動車	986	15.8%	1,519	20.3%	2,111	17.4%
精密機器その他製造	405	6.5%	453	6.0%	754	6.2%
官公庁・団体	291	4.6%	366	4.9%	792	6.5%
金融	233	3.7%	283	3.8%	456	3.8%
流通・小売	369	5.9%	826	11.0%	697	5.8%
その他	562	9.0%	655	8.7%	1,073	8.9%
合計	6,253	100.0%	7,496	100.0%	12,108	100.0%

※ 企画売上高は除きます。

(単位:百万円)

価格帯別の推移

規模に関わらず全体で増加。
平均単価@1000万円へ。

	前第2四半期累計期間 (26年12月)	当第2四半期累計期間 (27年12月)	前期 (27年6月)
～1,000万円	544	555	1,013
1,000万円～2,000万円	74	97	149
2,000万円～5,000万円	57	67	111
5,000万円～1億円	13	18	27
1億円～	8	10	14
合計	696	747	1,314
案件単価(百万)	8.9	10.0	9.2

(単位:件数)

引合案件形態別

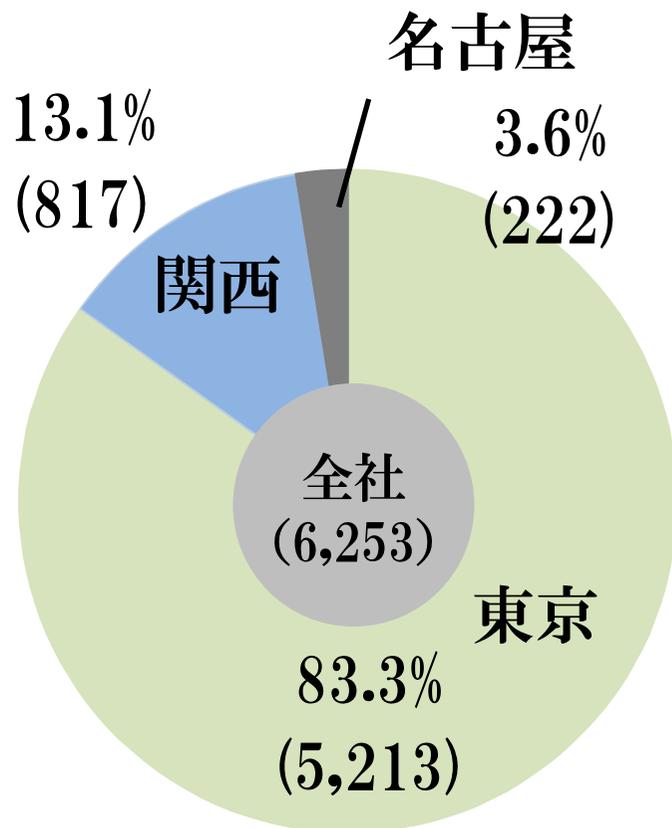
全ての案件形態が増。
特に重要顧客にフォーカスした、指定案件数が増加。

	前第2四半期累計期間 (26年12月)		当第2四半期累計期間 (27年12月)		前期 (27年6月)	
競合	74件	1,104	73件	1,442	132件	2,065
提案	121件	1,155	138件	1,306	248件	2,534
指定	501件	3,993	536件	4,748	934件	7,508
合計	696件	6,253	747件	7,496	1314件	12,108

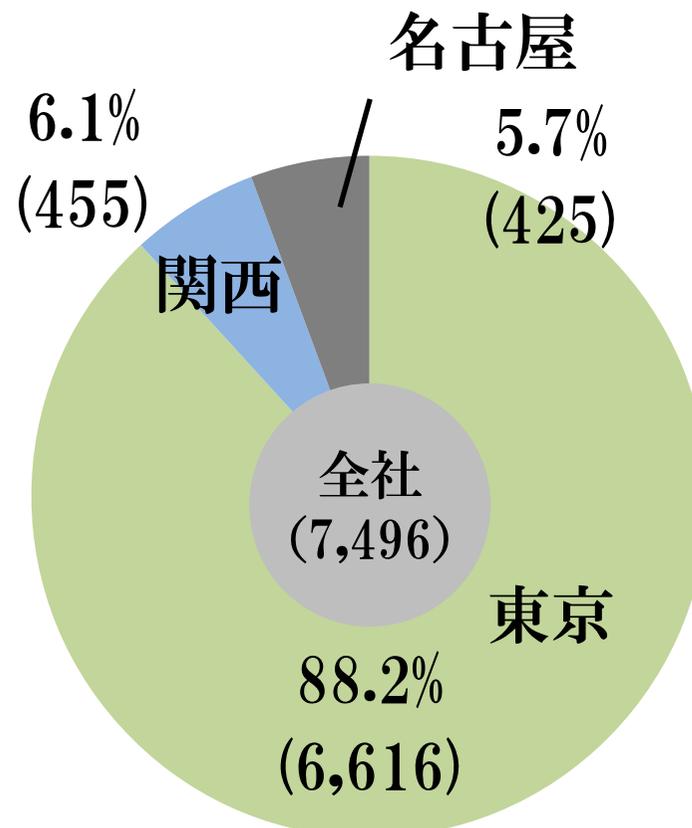
(単位:百万円)

※企画売上高は除きます。

地域別売上シェア



前第2四半期累計期間
(26年12月)



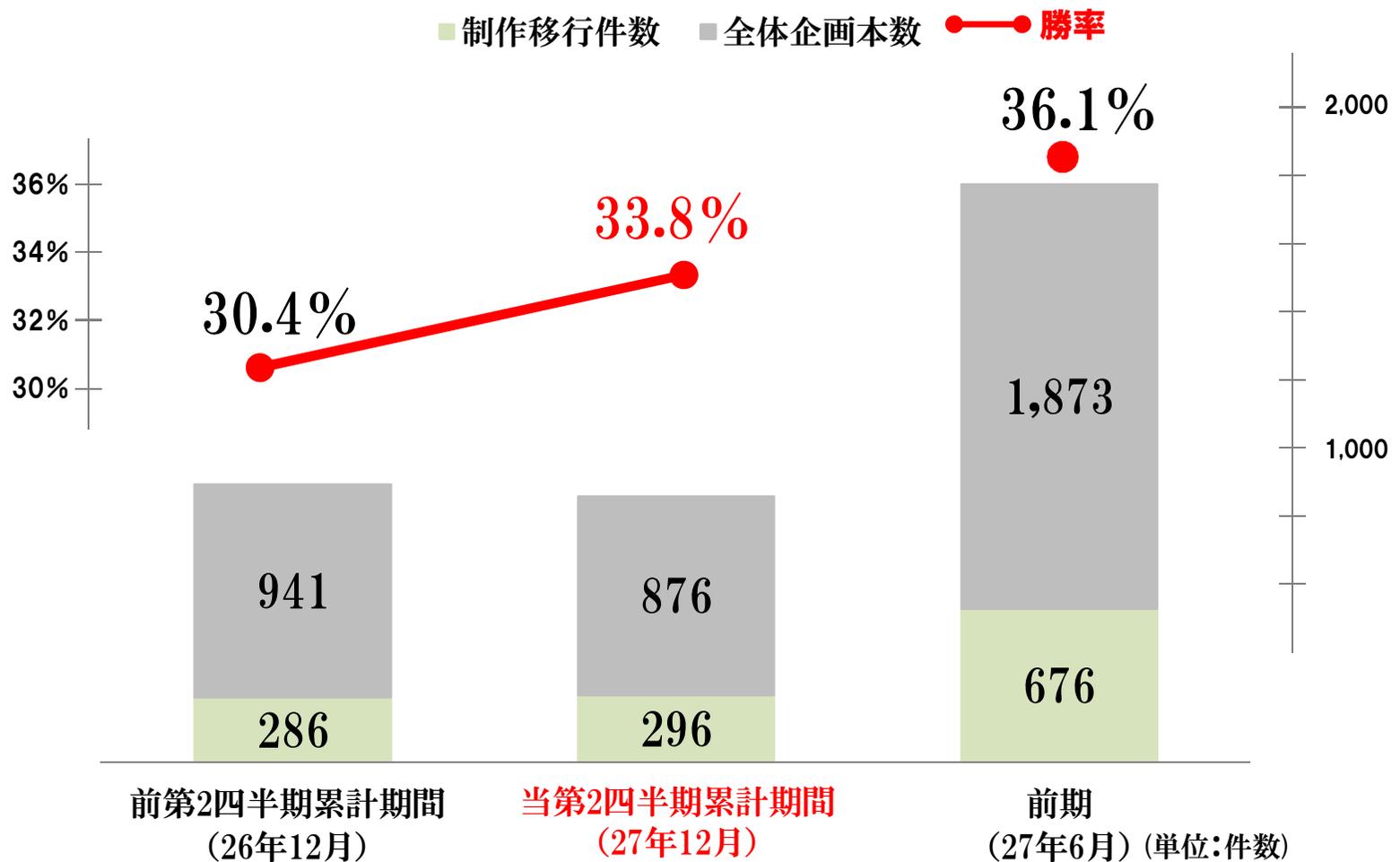
(単位:百万円)

当第2四半期累計期間
(27年12月)

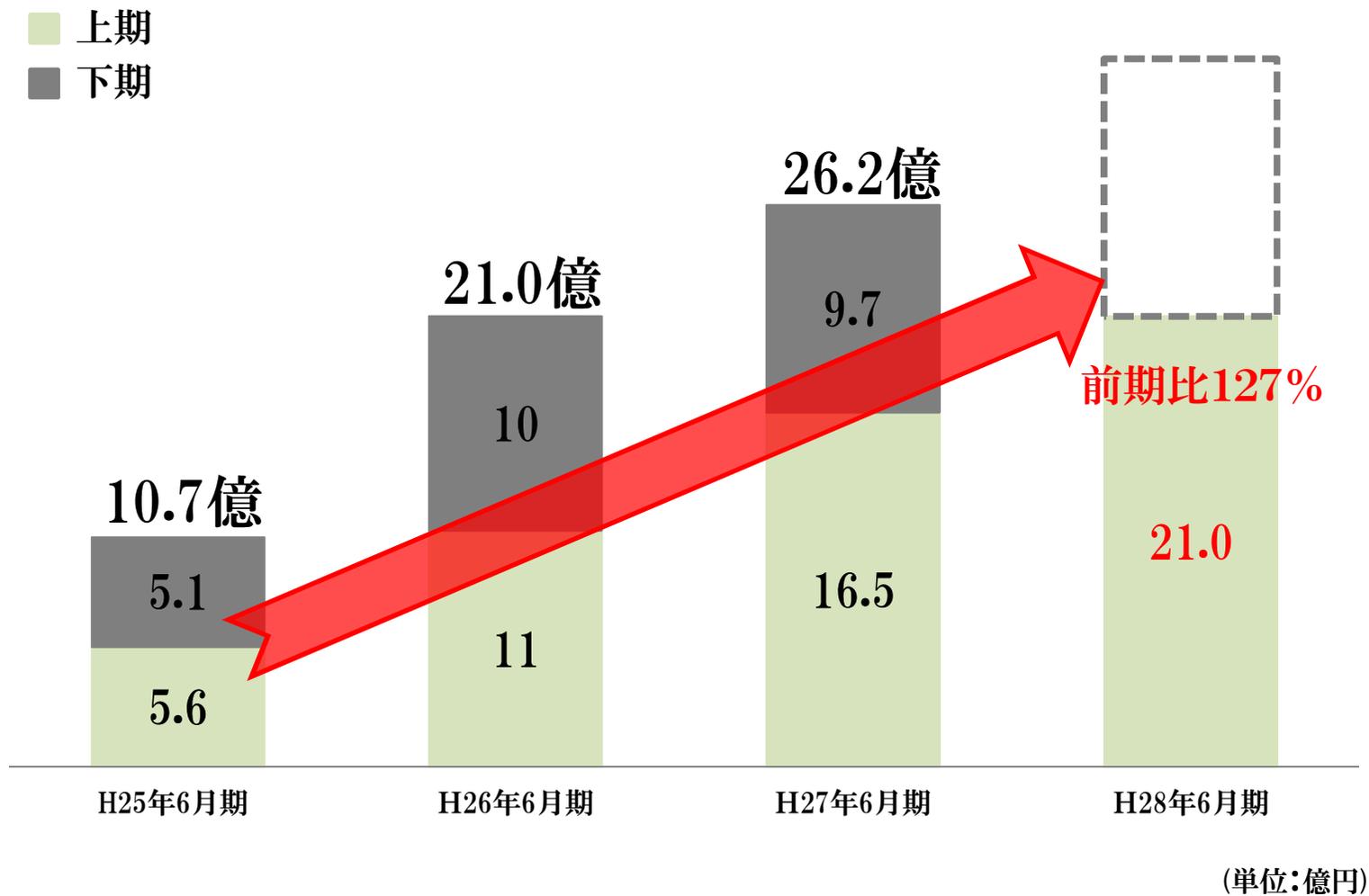
※ 企画売上高は除きます。

企画勝率

引合い案件数は減少したが、勝率は向上。
目標の“3割以上”を高い位置で維持。



デジタル×リアル＝IP案件の順調な伸長が 売上とTOWブランド向上に貢献



平成28年6月期の予想と進捗

通期業績予想(連結)

“過去最高売上・利益”を目指す

経常利益



(単位:百万円)

平成28年6月期通期予想(連結)

	平成27年6月期	平成28年6月期		
		当初計画	修正計画	前期比
売上高	13,442	14,290	15,119	112.5%
売上原価	11,372	12,100	12,724	111.9%
売上総利益	2,069	2,189	2,394	115.7%
営業利益	1,335	1,416	1,579	118.3%
経常利益	1,349	1,422	1,583	117.3%
特別損益	2	-	-	-
当期純利益	818	930	1,012	123.7%

(単位:百万円)

平成28年6月期の考察

受注ペースは堅調。
良質の竹梅獲得を継続。

	平成27年6月期 (平成27年2月6日現在)	平成28年6月期 (平成28年2月8日現在)
上期売上実績	6,304	7,539
下期受注残高 (A・B・松の合計)	3,499	4,108
下期竹・梅の合計	3,897	3,841
通期売上高	12,196	13,583

(単位:百万円)

- A : イベントの規模(金額)、実施時期等が決定している案件
- B : 受注決定だが、金額・実施時期等に不確定要素のある案件
- 松 : 当社がほぼ受注する見込みにある案件(80%以上の確度)
- 竹 : 企画・提案案件のうち、当社が受注する確度の高い案件(50%以上の確度)
- 梅 : 企画・提案中の案件

配当方針及び配当金について

○配当方針

- ①配当性向40% }
②株価配当利回り4.5% } ①②それぞれで算出した予想配当金の
いずれか“高い方”を最低配当金※。

※内部留保の確保という基本方針に基づき、連結配当性向換算50%を上限とし配当額を決定いたします。

○配当実績・予定

36期 平成24年6月期	37期 平成25年6月期	38期 平成26年6月期	39期 平成27年6月期	40期(予定) 平成28年6月期
32円	28円	28円	33円	41.5円 ※分割前換算

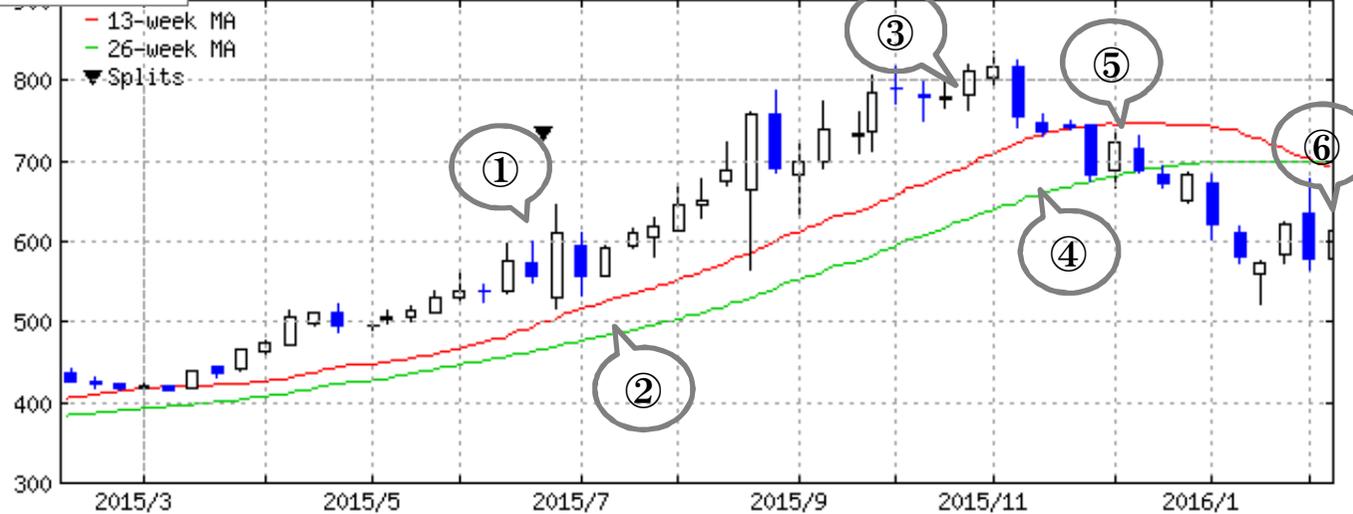
配当予想	中 間	期 末	合 計
平成28年6月期	10.25円	(予) 10.50円	(予) 20.75円

※平成27年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

TOW

株価推移

2016/2/8



- ①6/30 業績予想の上方修正発表
- ②7/7 面白法人カヤックとの業務提携発表
- ③10/13 太陽企画との業務提携発表
- ④11/10 第1四半期決算発表
- ⑤12/9 上期業績予想の上方修正発表
- ⑥2/8 通期業績予想の上方修正発表

	平成26年6月	平成26年12月	平成27年6月	平成27年12月
株価	346円	405円	598円	683円
出来高	28,598株	24,632株	43,423株	111,968株
時価総額	84.7億	99.1億	146.4億	167.2億

※株価については、月末の数値を反映しております。

※平成26年の株価については、分割前ですが、分割後(理論値)として反映しております。

※出来高については、6ヵ月ごとの平均値を反映しております。

下期(平成28年6月期)の方針

『期初の方針を継続・強化』

競争力強化のための“3つの付加価値”

① “※IP力の標準装備化の加速”と
更なる“異業種コラボ”によるリアル価値向上

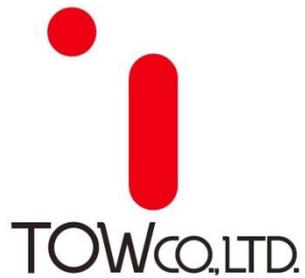
② IP含む“統合プロモーション力”強化

③ “グループ力”の更なる強化

※IP＝デジタル技術とアイディアで感動体験を創りだし、
その体験を拡散&共有させるプロモーション

前期までの異業種コラボ実績

✕ **1→10design[®]** = 1→TOW
リアル×**デジタル**の
ハイブリットユニット
ワン・トゥー・ダブリュー



✕ **PARTY** = TOW×PARTY
日本屈指のCD4名が集結
“**クリエイティブ・ラボ**”とのタッグ

✕  **面白法人
カヤック** = **バズるイベント
TOWAC**

“**バズる**イベント”を仕掛ける。

新たな異業種コラボの紹介



 **TAIYO KIKAKU co.,ltd.** (映像会社)

T × T

VISUAL EXPERIENCE UNIT

リアルと映像の力で
新たなブランド体験の可能性を目指す、
プランニング&プロデュース ユニット誕生。

※2015年10月発足

 **TAIYO KIKAKU co.,ltd.**

- 設立 : 昭和43年2月
- 従業員数: 270名 (平成27年7月末現在)
- 事業内容:
CM を中核とした広告宣伝全般の構成・
企画から制作まで。

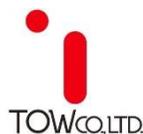
T×T

太陽企画の社内ユニット『Tokyo』
大手通信会社などの話題性のある作品を手掛ける。

T×Tの主旨及び狙い

「リアルと映像の力で新たなブランド体験」

当プロジェクトのスタートにより、今まで分業関係であったリアルと映像が融合し、双方の視点・発想・ノウハウをフル活用して、今までにないブランド体験を世に送り出し、かつ広告主の課題解決に貢献することを目指します。



Material (PR会社)

PRモーションズ

PRデータ×アイデアで
PR&プロモーション双方の効果の最大化を
目指すチーム

※2016年2月8日発足

Material

- 設立 :平成17年2月
- 従業員数:34名 (平成27年12月末現在)
- 事業内容:
PR業務全般・キャスティング・イベント制作・
Web/モバイルコンテンツ開発

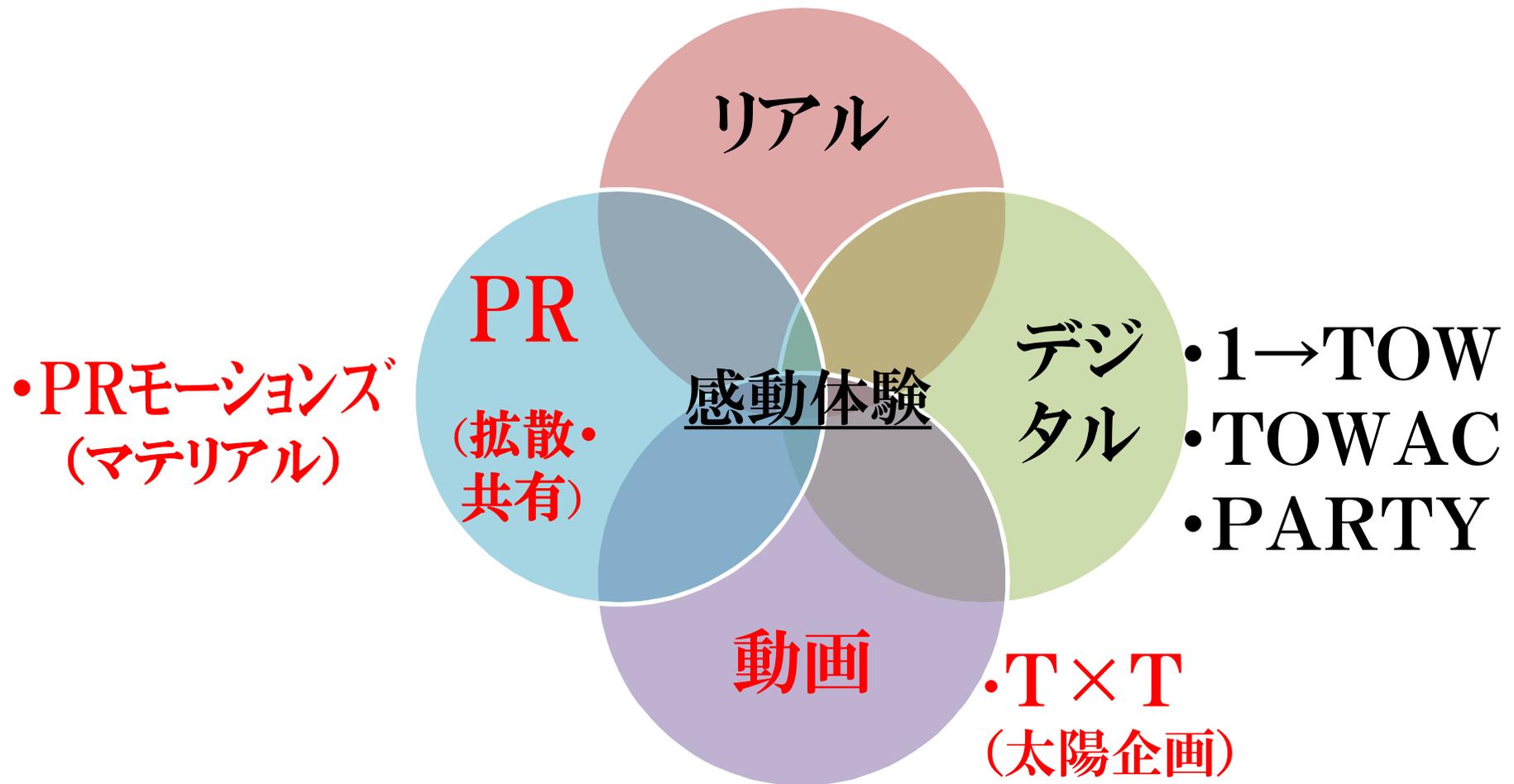
【異業種コラボの狙い】

クライアントが求める
プロモーション効果の最大化のために、

TOWのコア事業ドメインである
“リアル・プロモーションの価値を高める”
異業種コラボにより
新事業ドメイン・ポートフォリオを構築中

⇒TOWの“ハイスペック化”

新プロモーション・ポートフォリオ



競争力強化のための“3つの付加価値”

- ① “※IP力の標準装備化の加速”と
更なる“異業種コラボ”によるリアル価値向上
- ② IP含む“統合プロモーション力”強化
- ③ “グループ力”の更なる強化



(上記3点をテコに)

過去最高益&3期連続増収増益へ！

経営理念

世界一の

“感動体験”をクリエイトし、
笑顔を増やす。

TOP OF THE WORLD
TOWCO.,LTD

ありがとうございました。

